

2008 史学会第一〇六回大会プログラム

場 所 東京大学(本郷)

一月八日(土)

公開シンポジウム

法文二号館一番大教室

午後一時

「信仰における他者——異宗教・異宗派の受容と排除の比較史論——」

趣旨説明
報告

中近世日本の在来宗教とキリスト教——「天道」思想を中心に——

中国近代の民間宗教結社とキリスト教——対立の構図を超えて——

近世ドイツ語圏に見られるユダヤ人観——特にルターを中心に——

イスラームの民間信仰からみた他者受容のメカニズム

——ジェルバ島の漂着聖女——

コメント

深沢 克己

神田 千里

武内 房司

森田 安一

田村 愛理

山口 輝臣

那須 敬

黒木 英充

討 論

総 会・懇親会

山上会館

午後五時半 会費 三〇〇〇円

一月九日(日)

部 会

日本史部会

第一会場

(古代・中世) 法文二号館一番大教室 研究発表 午前一〇時

第二会場

(中世) 研究発表 午後一時半

第三会場

(近世) 法文二号館二番大教室 研究発表 午前一〇時

第四会場

近世史シンポジウム「山里の社会史」 午後一時

第五会場

(近現代) 法文二号館二二番教室 研究発表 午後一時

第六会場

東洋史部会 研究発表 午前一〇時

第七会場

西洋史部会 研究発表 午前九時半

日本史部会

第一会場 (古代・中世) 法文二号館 一番大教室

研究発表 (午前一〇時〜一二時)

- 1 古代国家における官司制・官人制の展開
- 2 鳥坂寺出土陶書瓦の釈読——川内国飛鳥評の「五十戸」史料——
- 3 日本古代の「堂」と法会——『東大寺諷誦文稿』を手がかりとして
- 4 平治・永暦年間の日本・高麗関係に関する一考察

研究発表 (午後一時〜五時)

- 1 治承・寿永の戦争と源頼朝の故実
- 2 『鎌倉遺文』所収売券群からみた田地売買価格の試算
- 3 鎌倉後期の関東中次の機能と意義
- 4 帆船と湊船帳
- 5 中世後期の島津氏に関して——福昌寺と賢忠寺をめぐる——
- 6 三好氏権力と末期室町幕府との関係について——三好義長を考える——

第二会場 (近世) 法文二号館 二番大教室

研究発表 (午前一〇時〜一二時)

- 1 松本藩水野忠恒の「改易」に関する一考察
- 2 近世中後期の朝廷財政と公金貸付
- 3 唐船打ち払いと幕府・藩の姿勢
- 4 享保五年の唐船「打潰」一件をめぐる——
- 5 関東譜代藩領の金融構造——近世後期の川越藩領を事例に——
- 6 シンポジウム「山里の社会史」(午後一時〜五時)

趣旨説明・司会報告

- 1 山里の社会集団——百姓と胤——
- 2 泉州泉州郡春木川村の村落秩序と山林利益——一九世紀を中心に——
- 3 森林行政と地域——諏訪・上伊那地方を中心に——
- 4 山里の分節構造——南信濃清内路村を事例として——

第三会場 (近現代) 法文一号館 二二番教室

研究発表 (午後一時〜)

- 1 維新期日田の地域通貨流通
- 2 明治初年の言論規制問題
- 3 近代日本における教育ルートの形成と旧藩団体
- 4 日本近代養蚕業と飼育標準表の確立過程
- 5 明治前期の養蚕雑誌・養蚕書の検討——
- 6 近代日本の植民地教育政策の形成と官僚制
- 7 大正期日本における「人材派遣」——
- 8 台湾総督府による中国華南への教師派遣——
- 9 昭和恐慌と政友会
- 10 農村生活改善運動による「もんべ」の普及
- 11 昭和初期における伝統と近代化——

東洋史部会 (法文一号館 一三番教室)

研究発表 (午前一〇時〜一二時)

- 1 京師の為替送金と北京周辺の銀貴との関係について
- 2 日中戦争時期、汪精衛陣営に於ける新中国建設構想
- 3 中華人民共和国初期、河北省における宣伝工作と農村社会
- 4 二〇世紀初頭マレー半島ペラにおける華人錫鉱業と機械化
- 5 研究発表 (午後一時〜五時)
- 6 あるマムルーク軍人の生涯と寄進——アミール・キジュマースの事例——
- 7 居延漢簡よりみた候長と候史
- 8 明代層本『十六国春秋』編纂考
- 9 北魏後期における皇室の婚姻政策——北魏国家像の解明にむけて——
- 10 関中政権における北齊系士人再考
- 11 唐朝代宗期における五臺山文殊信仰と王権
- 12 一〇世紀敦煌の王権像と転輪聖王思想
- 13 明代地方軍事体制の構造について——都司と総兵官の関係をを中心に——

西洋史部会 (法文一号館 二五番教室)

研究発表 (午前九時三〇分〜一二時二五分)

- 1 第二次マケドニア戦争再考
- 2 ローマおよびヘレニズム諸国の軍事・外交の構造——
- 3 金銭分配人に見る共和政末期ローマの選挙
- 4 ローマ期エジプト農村部における家族間経済関係
- 5 二世紀テブテニス村の土地賃貸・金品貸借契約の分析から——
- 6 初期中世アイルランドの教会墓地
- 7 パルセロナ伯領における「再征服」と「再植民」
- 8 タラゴナ大司教座の事例を中心に——
- 9 中世末期ニュルンベルクの都市使節活動
- 10 神聖ローマ帝国の地域的秩序形成のあり方——
- 11 一五世紀イングランドにおける国家と地域社会
- 12 湖水地方 ケンダル諸侯領をめぐる——
- 13 合同法成立前の議論から見るスコットランド人の一七〇七年合同に対する認識
- 14 マコーリーの『イングランド史』におけるホイグ像
- 15 「朝鮮南延君陵墓盗掘事件(一八六八年)」と「帝国創建期」の「ドイツ」
- 16 司法当局の対応
- 17 フランスとポストコロニアリズム——植民地史研究の地平から——

近藤竹吉	大内誠亮	佐藤益介	小松賢司	彭松賢	吉田伸之	脇野博	齋藤以知子	江下伸之	吉田伸之	安原徹也	内山京子	大原郁子	蔡金師	手塚雄光	井内智子	佐藤智郎	関野哲郎	河野正英	東條哲郎	五十嵐大介	吉川智史	梶山智史	稲佐哲賢	中田美朗	赤木崇英	沼田英年	伊藤雅之	丸亀裕司	高橋亮介	木村晶子	阿部俊大	阿部ひろみ	加藤はるか	武田和久	信澤淳	平野千果子	鈴木楠緒子
------	------	------	------	-----	------	-----	-------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	-----	-------	-------